

事業所名

S. I. C. KIDS清須校

児童発達支援支援プログラム

作成日

令和6年

12月

11日

| | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|-----|----|----|-----|----|---------|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | みんなちがってみんないい/お子様の成長に保護者の方と共に寄り添う | | | | | | | | |
| 支援方針 | | お子様の発達に必要な療育を集中的に、個別に行う環境を整え、支援を行います。発達においての土台である感覚（触覚・視覚・聴覚）、原始反射の統合を行うことで、困りごとの根本原因を取り除き、お子様の自己肯定感を伸ばしていきます。 | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 平日 | 11時 | 0分 | から | 19時 | 0分 | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| | | 学校休業日 | 9時 | 0分 | から | 17時 | 0分 | | | |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用毎の体温測定により健康状態を把握した上で支援提供をします。 ・毎月の身体測定（身長・体重）により成長状況の記録を行っています。 ・運動により質のよい睡眠促進を目指します。 ・構造化（荷物置き場の明確化等）による安心・安定した精神状態での支援提供を行います。 ・衣服の着脱、排泄等基本的な生活スキルを身につけるうえでの課題点を解消していきます。 | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> ・個々の発達段階に合わせたトレーニングを利用ごとに組み立て、個別に支援しています。 ・粗大運動をおこなうことで、姿勢の保持や安定感、崩れた姿勢からの立て直しなどの能力を伸ばしていきます。 ・微細運動をおこなうことで、目と身体の協調性を伸ばしていきます。 ・新たな運動の習得に適した状態を目指して、脳の働きを整えていきます。 ・感覚の過敏や鈍麻が軽減されるような支援を提供しています。 ・指導訓練室は全体で57㎡確保し、室内でもアクティブな動きができるように配慮しています。 | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> ・曜日や時間の概念の習得できるよう支援しています。 ・自発的に危険回避行動が取れるよう判断力を養っていきます。 ・好きなことに集中して取り組むことで集中力を養い、必要なところで集中力が発揮できるようにしていきます。 ・水分補給の時間配分をコーチと一緒にするなど、見通しを立てて過ごします。 ・気持ちの切り替えを行わなければならない機会に対応できるように支援していきます。 ・他のお子様と同じ空間で過ごす時の適切な行動を促していきます。 | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> ・指導員との1対1の個別支援により、個々の発達段階に合わせて適切な表情や行動を促していきます。 ・発語を促すために、お子様の話したいという思いを大切にします。 ・語彙力の向上のために、個々の発達に合わせた言葉遣いや言い回し、伝え方をうみます。 ・非言語コミュニケーションの活用をしています。 ・読み書き能力の習得につなげるためにビジョントレーニング等の支援を行います。 ・当日の予定を貼り出すことで、お子様の読みたいという思いを引き出しています。 | | | | | | | | |

| | | | | |
|--|-------------|---|---------|---|
| | 人間関係 社会性 | <ul style="list-style-type: none"> ・愛着の形成が心の発達の土台になるので、まずは安心、安全な場所・人であることを伝えていきます。 ・かかわる人へ興味関心をもって、適切なかかわり方ができるように支援していきます。 ・集団参加へ向けたSST（ソーシャルスキルトレーニング）を行います。 ・協調性をもって過ごすことができる様、またいざという時のトラブルの解決能力が身につくようにコーチが支援します。 ・トライしてみたらできた、という経験を繰り返すことにより自己肯定感の向上を図ります。 ・運動を行うことによるホルモン分泌の活性化により、情緒の安定を図ります。 ・施設内でのルールやコーチの指示を理解して、自分なりに過ごすことができる様に支援していきます。 | | |
| | 家族支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方の送迎の際には当日のご様子や最近のご様子の共有を行います。 ・保護者の方との面談を通してご家庭での様子、事業所での様子の共有を行い、お子様の発達状況や特性の理解に向けたご相談、困りごとや兄弟姉妹へのご相談にも対応していきます。 ・保護者様同士のつながりがもてるようコミュニティ会の開催を行います。 ・子育てや障がいに関する講演会やセミナーを開催し情報提供を行います。 | 移行支援 | <ul style="list-style-type: none"> ・進路や移行先の選択についてのご相談や準備についての支援を行います。 ・子どもの進路について専門の先生によるセミナーを開催します。 ・インクルージョンの促進。 |
| | 地域支援・地域連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、基幹支援センターとの連携を行います。 ・併用事業所や園との情報共有、支援方法や環境調整の情報連携を行います。 ・医療機関との情報連携や調整を行います。 <p>ボランティアや職業体験の受け入れ等地域住民との交流を行っています。</p> | 職員の質の向上 | <ul style="list-style-type: none"> ・内部・外部研修に参加しスキルアップに努めています。 ・資格取得 ・療育会議や職員会議の実施をしています。 |
| | 主な行事等 | 避難訓練、ファミフェス、コミュニティ会、セミナー、講演会 | | |